

金山町議会だより

第234号

令和8年8月13日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔6月定例会 会期6月12日～16日〕

- ・6月定例会議案審議……………2
- ・議案審議結果一覧・お知らせ……………3
- ・一般質問 6人が登壇……………4～10
- ・議員管外視察報告……………11

ヒメマスは県内では
沼沢湖が唯一の生息地

ヒメマスの
から揚げ

かねやま小学校でのヒメマス給食
(沼沢湖のヒメマス漁が3年ぶりに解禁になりました)

6月定例会

6月定例会は、6月12日から16日の5日間開催され、条例の制定・改正、一般会計補正予算、契約締結、財産の取得、人事、報告など14議案議員提出議案2件が提案され、原案の通り可決されました。

一般質問は、6人の議員により行われました。

●補正予算(議案審議)

債務負担行為(只見線運営費負担金)

問 令和9年度から令和16年度(8年間)1億4,716万円を上限に設定。年間約1,800万円の負担金。投資にするのか、ただの負担金にするのかで大きく意味合いが変わってくる。冬の運行についてはJRに働きかけをして欲しい。

答 企画課長 町から多額の金額を出しているのて活性化、知事が言っている地方創生路線というような形にしなければと考えています。冬の運行についてはJR、県に町

長始めあらゆる機会に要望しており、引き続き要望していきます。

問 冬期間の運行は代行バスを含めインフラとして動かして頂きたい。

答 町長 列車運行が難しいとなれば、当然代行バスになりますが、県でも昨年度とは違う考えを持っていくようです。

※債務負担行為とは・・・

町が複数年度にわたる事業をする際、議会の議決を経て金銭の支払い義務(債務)をあらかじめ約束し、内容、限度額を予算として定めて置く制度。

一般会計・・歳入

固定資産税

問 大規模償却資産6,910万円の大増増額、要因は。

答 住民課長 主な要因は電気事業者による大規模な設備投資、更新によるものです。

一般寄付金(企業版ふるさと納税)

問 建設業者から300万円の寄付。現時点での使途については。

答 企画課長 地域再生計画の中に載っている、若い世代の結婚・出産・子育ての事業に充当。

財政調整基金

問 6,320万円を基金に繰り入れ。その後の財政調整基金の総額は。

答 総務課長 基金残高は11億7,000万円程度になります。国では、基本的に標準財政規模の概ね20%程度の指標を示

しています。町の場合、財政的に非常に脆弱で、税収があまり見込めない中、歳入のほとんどが交付税、国県の補助金に頼っている状況です。特別会計を含めた町の予算総額が概ね50億円になりますが、その20%の約10億円程度が適当な範囲かと考えます。

一般会計・・歳出

ごみ処理事業

問 塵芥車の需用費に237万円(タイヤ代、車検修繕費、燃料費等)当初予算になかった経費。委託料に660万円。補正の理由は。

答 保健福祉課長 昨年度までは需用費分は業者委託料に含まれていた。年度末に契約事業者より入札不参加の申し入れがあり、令和8年度からは、新しい業者との契約により需用費分は町が直接支払うことに変更になり今回計上した。

問 新年度の契約について

では。

答 保健福祉課長 ごみ処理の委託契約については、随意契約となり最終的に3社連合で契約しました。



大量排出の不燃ごみ

農業用機械購入事業補助金

問 補助金277万円。農業法人、集落営農組織、認定農業等への高率補助。集落内の農地はなるべく認定農業者で耕作することが必要かと考えます。高率補助の理由は。

答 農林課長 補助率は2/3で補助金上限が250万円から350万円。営農の継続と経営規模拡大、耕作放棄地の抑制を目的とした補助金。

人事

◆金山町農業委員

6月定例会で、農業委員の任命に同意しました。

五ノ井 隆

稲垣 花恵

小林 和衛

中丸 守

山口 敏哉

諏江 めぐみ

栗城 義昭

渡部 真明

滝沢 聡

三瓶 浩一

菅家 国男

須佐 政二

(山入・新任)

任期は7月20日から3年間です。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	大竹 一樹	安藤 雅朗	加藤 夕子	坂内 譲	栗城 康太郎	横田 正敏	五ノ井 義一
■第3回定例会（6月定例会） 令和8年6月12日～16日開催								
金山町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業等との調和に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
(目的：金山町における特色ある景観、豊かな自然環境及び安全で安心な生活環境の保全と、急速に普及が進む発電事業に係る再生可能エネルギー源の利用及び蓄電池の設置との調和を図り、自然環境に配慮した地域社会の発展に寄与する。)								
令和8年度金山町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	
契約締結に関する議決について (金山町役場庁舎非常用発電設備設置工事)	可決	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について (塵芥車購入事業)	可決	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について (除雪ドーザ14t級購入事業)	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町農業委員の任命に関する同意について	同意	無記名投票により採決 (賛成6票：反対0票)						
■陳 情								
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	
■議員提出議案								
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	
「国会議員の定数削減に反対する意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	

議員との懇談会

「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、令和5年12月に改選されました。

7名（欠員1名）の議員の当選回数も1～2回と少なく、議員の平均年齢も55歳と比較的「フレッシュ」な議会となっています。

そこで

- ・高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり
- ・若者が少ない町での町づくり、地域づくり
- ・持続可能な町づくり、地域づくり
- ・日頃考えている提案、アイデア などについて

皆さまからのご意見、ご要望をお聞きするため、議員が出向いての「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。開催を希望される地区・事業所・団体等の担当者の方は、金山町議会事務局（tel 54-5341 fax 54-5345）までご連絡願います。

一般質問

— 金山町の
ここが聞きたい —

氏名(登壇順)	質問事項
1 栗城 康太郎 (5 ページ)	・ 消防団員の確保と地域防災力の維持について ・ マイクロバス運転の安全管理体制について
2 安藤 雅朗 (6 ページ)	・ 川口高校卒業生との関係人口維持について
3 坂内 譲 (7 ページ)	・ 金山町における防犯カメラの設置状況と今後の計画、 および住民への補助金制度導入について ・ 人材確保に苦慮する事業所に支援を
4 大竹 一樹 (8 ページ)	・ 時代に合わせた施策展開を
5 加藤 夕子 (9 ページ)	・ 資源ごみの分別回収における住民負担の軽減について ・ メディア露出に伴う「大塩天然炭酸水井戸等」の急激な 混雑への対応と、持続可能な維持管理財源の確保につ いて
6 横田 正敏 (10 ページ)	・ 町の特性・資源を活かし積極的な町づくりを

○一般質問とは…各議員が本会議で町の一般事務や町の将来に対する方針などについて質問することで、「一問一答方式」により行います。
質問者一人につき、答弁の時間も含め50分以内としております。

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和8年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和8年一般質問](#)



金山町消防団春季検閲式
基本団員数136名、機能別団員数89名
(令和8年4月1日現在)



栗城康太郎議員の 一般質問

消防団員の確保と地域防災力の維持について

現状を維持していくことが当面の目標となりますー町長

当町における消防団員数は年々減少傾向にあり、平日の日中はほとんどの団員が仕事で地元になくなってきているなど、地域防災力の低下が懸念される事態となっています。地域の実情に即した消防団員確保策と持続可能な消防団体制の構築は喫緊の課題です。

問① 今後の人口動態や過疎化の進行を踏まえ、何年後にどの程度の団員を確保することを目標としていますか？

答 町長 金山町総合計画にもあるように、人口減少と高齢化は今後も一定期間続くものと推計されます。今後5年程度はこの団員数で推移するものと思われ、現状を維持

問② 当町における機能別団員等の導入、運用状況とその評価は？

答 町長 機能別団員は所属班の区域における初期消火、行方不明者の捜索、災害時の安否確認や避難誘導などを目的に活動していただいております。



マイクロバス運転の安全管理体制について

国・県や他の地方公共団体の動向に注視しながら適切に対応してまいりますー町長

問① 本町内の学校や社会教育関係団体が、部活動や各種行事でマイクロバス等を利用する実態をどのように把握しているか？

答 町長 義務教育現場での利用実態については学校から教育委員会に事前に申請することになっており、社会教育団体における利用実態について

問② レンタカーを含むマイクロバス利用時の運転者の資格、経験、健康状態の確認ならびに高速道路走行や長距離移動時の運行計画に関してのガ

答 町長 レンタカーを含むマイクロバス利用時の運行に関するガイドラインはありますが、公用車の運行管理に関する指針があり、公用車に関しては、この方針に基づき運行管理をしている状況です。この指針の見直しや新たなガイドライン等

議員のひと言
子供たちや運転者を守るためにも早急なガイドラインの整備を

川口高校卒業生との関係人口維持について

町との関わりをどう築いていくかが大きな課題――町長



問① 川口高校の全卒業生を対象としたネットワーク構築の現状はいかがですか。貴重な人的財産である卒業生の進路や動向をどのように把握し、卒業後も町との繋がりを維持するための名簿管理を行っているのでしょうか。

町長 卒業生は貴重な関係人口であると認識していますが、高校側の同窓会名簿は非公開のため目的外使用はできません。現在は地域みらい留学のコーディネートによる卒業生との繋がりがあることから、イベント情報の発信などは行っているところですが。

問② ふるさと住民票などを活用し、卒業直後から第二のふるさととして繋ぎとめる仕掛けについての見解はいかがですか。

町長 個人を介して情報発信をしている段階です。今後は個人情報保護に配慮しながら、卒業前に任意で案内送付などの同意書（アンケート）を取り、卒業後のネットワークを把握してタイアップできる仕組みを模索してまいります。卒業生との繋がりが保てる状態になったら、次のステップに進みたいと考えています。

問③ 地元出身者と元留学生がともに金山町に集まり、二十歳を祝う「Ｊターン成人式」を町がプロデュースする考えはありますか。

教育長 関係人口の再構築において大変重要な仕組みです。現在は金山中の卒業生主体の成人式を行っているため難しさはありますが、寮生を中心とした集いなども含め、関係課と連携して魅力的な企画を考えていきたいです。

問④ 町外に出た卒業生が遠隔から副業として町のプロジェクトに関われる若者主体のプラットフォームを構築する考えはありますか。

町長 若者の専門知識を生かした遠隔参画は理想的な形態です。若者定住・情報通信・高校担当部門が横断的に調査研究を深めて模索します。また、定住促進懇談会などの諮問機関にオンラインで参加して意見を取り入れる場についても、各

問⑤ 将来的なＪターン・Ｕターンを促す中長期的な受け皿作りとして、「卒業生枠」の整備や受け皿作りの見解はいかがですか。

町長 町を理解している卒業生は移住後のミスマッチが少ない即戦力です。住む場所と働く場所の確保を含め、お試し協力隊事業の活用や、よりインパクトのある人材募集の工夫を地道に進め、受け皿としての仕組みを横断的に研究してまいります。

議員のひと言
高校を残すから、地域の未来を創るためにの視点で。



県立川口高等学校
「一人ひとりが光り輝く主人公」
沼沢湖遠足(全校生徒)

問 金山町独自の制度設

問 「Ｊターン成人式」

問④ 町外に出た卒業生

問⑤ 将来的なＪターン



金山町における防犯カメラの設置状況と 今後の計画、および住民への補助金制度導入について

更なる安全対策が必要——町長

近年、防犯カメラの設置の重要度が増しているなど感じています。これまでも計画的に公共施設内やその周辺、又は教育現場への設置を進めてきました。現在、町で管理しているカメラは50台程度と聞いていますが凶悪な強盗犯罪や山火事を含めた事故に対しての警戒

対応は、まだまだ足りないのが現状だと思えます。安心安全な町づくりを掲げている町として、このままの体制で十分であると考えているのか、町づくりの観点から伺う。

他福祉施設や体育施設、観光施設に設置しているほか、川口駅前や道の駅などにも設置しています。また、昨年度には、太郎布、田沢地区にリアルタイムで確認できる防犯カメラを設置しました。

問 集落内の防犯目的の電柱への設置の考え方は。

答 総務課長 基本的な考えとして集落の入り口出口2か所位の道路沿いを想定し試算しています。

問 設置にあたり場所を含め警察や関係機関との調整の考えは。

答 総務課長 現在、調整はしていませんが、今後検討していきます。

問 住民を巻き込んでの補助金制度を導入し、地区での監視管理を促しても良いのではないのでしょうか、町の考えを伺う。

答 町長 地域住民が主体となり地区の安全を守る

答 町長 凶悪な強盗犯罪や山火事等の事故に対する警戒対応として、防犯カメラの重要性は、ますます高まっていると認識しています。

防犯カメラの設置状況は、役場、学校、保育所、診療所、各公民館、その

坂内議員からは、この他に「人材確保に苦慮する事業所に支援を」の質問がありました。

議員のひと言
安心して暮らせるインフラ整備を最優先に

道の駅「奥会津かねやま」施設内に設置の防犯カメラ監視モニター（事務室）





新潟県弥彦村「旧鈴木家住宅」で開催された個展
国指定文化財の屋内に絵画が並んだ素敵な空間でした
町の文化財も様々な視点から活用を考えたいです

おお たけ かず き
大竹一樹議員の

一般質問



時代に合わせた施策展開を

新しい制度や考え方をよく理解し活用しますー町長

町を将来にわたり維持していくには、時代の変化に柔軟に対応できる施策、チャレンジする施策が必要であると考えます。変化が加速する時代と向き合う町の姿勢を伺います。

問① 町内W i - F i 整備事業の今後の展開と課題は。

答 町長 現在、基地局40か所、今年度新たに3か所程度の整備を予定し

ています。電波の安定性と今後の機器調達に関する懸念の2点を課題と認識し、これらを踏まえ今後の展開を検討します。

問 まずは災害時の避難場所や観光施設等でしっかり使えることが第一であると考えます。屋内に中継器を付けることや、場合によっては有線で引き込む検討をしてほしいですが。

答 総務課長 そのような考えは十分あり得ます。電波状況を確認する台帳を整備していますが、屋内の受信状況の調査はまだ実施していないため、今後行っていきたいです。

問② 自主財源確保や関係人口増への新たな取り組みの進捗、検討は。

答 町長 「ふるさと住民登録制度」については、制度内容などの把握を進めるとともに、関係人口

創出に知見のある団体と連絡を取っています。町が新しい事業に取り組む際には財源の確保が重要です。時代に合った手法で自主財源確保に努めます。

問 ふるさと納税の延長である「ガバメントクラウドファンディング」にプロジェクトチームをつくって挑戦することや、返礼品に体験型のコンテンツを追加することを検討してみても。

答 町長 行政事務を執行するうえでも、それぞれの課と情報共有して行政を進めていく必要があります。提案を真摯に受け止めます。

答 企画課長 体験型の返礼品が一つの方法ということは担当課としても理解しています。十分に検討を進めていきたいです。



体験型メニューに？(霧幻峽の渡し)

問 国指定文化財で個展を開き、絵を返礼品にクラウドファンディングで施設の修繕費を集める取り組みを拝見しました。町の文化財でそのように財源確保に取り組むことや、滞在しながら創作活動ができる施設を整備することは検討できませんか。

答 教育次長 まずは町文化財の適切な保存活用がされていないこと、様々な場所に点在していることなどの課題を一つずつクリアしていきたい

です。その上で文化財を生かした地域づくり、財源確保を一体的に考えながら進めていきます。

問③ 行政、議会のデジタル化、業務効率化についての考え方は。

答 町長 県のアドバイスや近隣市町村との情報交換を行い、少しでも業務効率化を進めたいです。文書や会議資料は紙媒体で対応していますが、可能な範囲でペーパーレス化に努めたいです。

問 行政主導で紙とデジタルを選べる環境を整備していったほうがいいのですか。

答 町長 できることからペーパーレス化を図っていくという基本姿勢で取り組んでいきます。

議員のひと言

次世代を担う人材が参画しやすい環境づくりを！



5月の全国版テレビ放送後大混雑しました
天然炭酸水の世界的な希少性が放送されたためです
町内には多くの天然資源があります



かとう ゆう こ
加藤夕子議員の

一般質問

メディア露出に伴う「大塩天然炭酸井戸等」の急激な混雑への対応と、持続可能な維持管理財源の確保について

より良い方策を共に考えるー町長

本年5月20日、全国放送の「羽鳥慎一モーニングショー」で町の天然炭酸水等が約13分間大々的に特集されました。世界的な希少性と無料で日常的に汲みに来ていた様子が広く全国紹介されたため、放送直後から現地は大混雑しています。現場では駐車問題、ごみのポイ捨て等のマナー悪化が

多発していました。何より深刻なのは、現場の維持管理です。「大塩炭酸水保存会」会員による大混雑への対応は高齢化が進む中、限界を遥かに超えたものでした。(町から施設管理費として年間11万円で委託)町の宝の一部の高齢住民の自己犠牲のみに頼る体制は、もはや持続不可能です。以下質問いたします。

問① 事前のリスク想定と現状把握について。

答 町長 放送終了後から井戸や周辺道路が大変混雑し、路上駐車も発生し、近隣住民に大変ご迷惑をおかけしたと伺っております。放送内容や時間については、テレビ会社から細かな事前の連絡はなく、予測は不可能な状況と言いますか、これほどの反響があったことを驚いております。現在、

その混雑は弱まったとはいえ継続しているようです。株式会社ハーベスからは、駐車場への無断駐車が多く、従業員の出入りが困難になることがあります。

問② 緊急の対策について。

答 町長 町は、大塩炭酸水保存会及びハーベスと協議を行い、連携して対応にあたっております。

町として緊急に出来る事として、消えかかっていた町道の外側線の引き直しを行い、道路区域であることを明確にして路上駐車対策を行いました。ハーベスは、駐車場にコーンとロープで従業員駐車場の表示を行い、無断駐車対策をしております。保存会では、国道入口に「この先に駐車場はない」

旨の看板を設置し、公衆トイレ前駐車場の利用を促しており、さらに、井戸周辺の巡回を強化しております。

問③ 「協力金箱」の設置と持続可能な管理体制について。

来訪者から「協力金を募る仕組みを早急に導入し、集まった独自財源を、町の一般財源に頼らない「持続可能な管理体制」を構築すべきと考えます。

答 町長 保存会からは、当面は現状の体制で進めたいとの連絡を受けております。金銭的な面でも、昨年度に町から物価上昇に伴う増額の打診を行いました。お断りされた経過がございます。今後、協議を重ね、より良い維持管理の方策を共に考えて参ります。

問 全国の観光地を見る

と、今や協力金をお客様から頂くのはもう常識と言ってもいいのではないのでしょうか。全国でも導入している自治体もたくさんあります。

答 町長 大変難しいと思います。今すぐに協力金を設置するというのは結論にはなっていない。井戸は町の所有物です。ので、関係団体と協議を進め、維持管理にあたっていきます。

議員のひと言

町の貴重な天然資源を守り、地域と調和した持続可能な維持管理に向け、積極的な提案を続けます

加藤議員からは、この他に「資源ごみの分別回収における住民負担の軽減について」の質問がありました。



会津川口駅前商店街空き店舗
お土産物売り場として改装中
オープンが楽しみです

横田正敏議員の

一般質問



町の特性・資源を活かした積極的な、町づくりを

魅力が向上できるよう取り組んでいくー町長

問① 温泉や天然炭酸水の取り組みにどう力を入れていくのか。また、点

として存在していることから、資源を面的に周遊する仕組みづくりはどう

取り組むのか伺う。

答 町長 当町には泉質の異なる温泉が7箇所湧出し、共同浴場なども整備されており。今後は「湯巡り手形」的なものを発行しその周遊を促

すことなども考えております。

面的に周遊する仕組みづくりですが、町は広大な面積に、温泉などの観光資源が点在しています。

道の駅や大塩炭酸場などの要所に町全体の大きな観光案内板を設置しています。

また、只見線などでお出での方には、観光タクシーやレンタサイクルでのモデルコースをおすすめすることで、面的な周遊を促しているところです。

問② 町の玄関口でもある会津川口駅駅舎等の魅力向上や利活用策をどう模索していく考えか伺う。

答 町長 町は、駅の利便性と魅力向上のため、乗車券類の有人販売を受託したほか、暑さ対策のため天井扇の設置、観光客のため無料コインロッカーの設置、木製ベンチの設置などを行ってきました。

これらは駅舎等の有効利用を図るため、現在、会津川口駅及び駅周辺の魅力向上や利活用策について、福島県やJR東日本と意見交換を続けています。

今後さらにもあらゆる可能性を検討し、駅舎や駅周辺の魅力が向上できるよう、素案作りに取り組みで参ります。

問③ 奥会津金山赤力ボチャ等特産農産物や郷土料理の提供の考えを伺う。

答 町長 当町には、奥会津金山赤力ボチャやエゴマなどの特産農作物や、刺身コンニャク、煮くろみ、山椒ゆべしなどの郷土料理が数多くあります。

が、味わうことができるのは、一部の旅館・食堂などで、期間的にも限定されている現状であります。

今後は地産地消の観点からも、もっと郷土料理を提供しただくよう各店舗に働きかけを行い、町が誇る「ごつつお」をもっと多くの方に食していただきたいと考えております。

問④ 目標達成のために先頭に立つリーダーは重要な役割を担うが、この10月に任期満了を迎えるが、出処進退については、適切な時期に判断することである。今この定

例会が適切な時期ではないのか伺う。

答 町長 私自身年齢的、体力的な面で、これからの任期を全うすることへの不安を感じるようになりました。

町の抱える課題は数多くあり、責任ある町政を担うことを考えたとき、次の任期を務め上げる自信が持てなくなり、気力、体力の衰えなどを考慮し熟慮してまいりました。

町政の舵取りには、常に新たな発想と行動力が求められます。

今後の金山町の更なる発展のためには、新しいリーダーにバトンを託すことが最善と判断し、10月の町長選挙には出馬しない、今期を持って引退するという結論に至りました。

議員のひと言

金山町は自然の恵みが雇用を生む町です

問 羽鳥慎一のモーニングショーのテレビ放送で炭酸温泉は1リットル中に炭酸ガスが250mg以上が炭酸泉、せせらぎ荘は1000mg以上含まれると放送されました。町の今後の取り組みについて。

答 町長 大黒湯の数値が最近1000mgを下回っています。昨年度中の最高が910mg

令和8年8月13日

管外視察研修報告

(総務文教・産業建設常任委員会合同)

7月6～8日実施

岡山県 西栗倉村

「百年の森林構想」を掲げ、林業、木質バイオマス活用、小水力発電等の先進的な取り組みをしている自治体です。人口千二百人程度ながら「地域おこし協力隊」が多数在籍し、任期後は村内で起業する方も多く、企業や行政研修の受け入れにも積極的です。視察した様々な事業から、金山町の可能性を探っていきます。



→林業施設視察
年間1万㎡の木材が流通



小水力発電施設
川の水を利用し村に電気供給→

大阪市鶴見花き地方卸売市場

→担当者様に市場内を
ご案内いただきました



かすみ草という産業について市場の視点から学びました

かすみ草等について
意見交換研修の様子←



J A全農福島様のご紹介で、J A会津よつば昭和かすみ草部会との取引が盛んな「株なにわ花いちば」の取締役、カスミソウ営業担当者様と、花き市場の状況や昭和カスミソウの可能性について意見交換を行いました。金山町の産業のひとつとなってきたかすみ草について学びを深め、今後の議会活動に活かしていきます。



100年後も誇れるまちづくり

金山町は只見川の支流等の豊かな水資源に恵まれ、出力変動が小さく、景観や生態系への影響も比較的抑えられる小水力発電に適した地域であり、山と川が調和した自然環境と相性の良い再生可能エネルギーの導入が期待できます。

公共施設や福祉施設、学校などを対象に分散型の小水力発電所を整備することで、平常時には電気料金の削減と域内経済の循環に貢献し、災害時には非常用電源として地域の安心・安全を支えることができます。子どもたちには学校教育や体験学習を通じて、森と川がエネルギーを生み出し、自分たちの暮らしを支える仕組みを学ぶ機会を提供します。こうした経験が地域への誇りを育て、進学や就職で一度町を離れても、「いつか金山に戻りたい」「金山に関わり続けたい」という思いを持つ若者を生み出していくと考えます。

小水力発電や木質バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギーを組み合わせ、私たちの自然環境を生かしたまちづくりを進めていきましよう。そして、それを100年後の子どもたちから見ても誇れる選択だったと言ってもらえるように、今ここから一步を踏み出したいと考えています。

(栗城康太郎)

両沼地方町村議会議員交流事業

7月10日、柳津町のつきみが丘町民センターで開催され、両沼(河沼郡・大沼郡)の7町村の議員、事務局、来賓約90名が参加し交流を深めることができました。(株)雨風太陽の高橋博之氏より関係人口、地域づくりをテーマとした「都市と地方をかきまぜる」を演題とした講演会があり、町の課題解決に関連した内容でした。



7町村議会議員交流事業

ごあんない

次回の定例会は、9月11日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月14日ごろからとなります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一
〔編集委員〕 委員長 横田 正敏
副委員長 安藤 雅朗
委員 坂内 譲
大竹 一樹
次回、金山町議会だより第235号は、11月中旬頃発行予定です。